



2022年6月発行  
 社会福祉法人 ありのまま舎  
 (障害者自立企画)  
 発行・編集責任者 白 江 浩  
 編 集 佐 藤 環  
 〒982-8544  
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
 TEL022(243)1300  
<http://www.arinomama.or.jp>  
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

## 第22回ありのまま自立大賞 第一次選考委員会オンライン会議開催



コロナウイルス感染拡大で2年続けて中止となっていた「ありのまま自立大賞」。開催について選考委員長の瑠子女王殿下と協議を行い、感染症対策を行いながらオンラインも活用し開催することで進めていくことになりました。

5月12日(木)、第一回目の選考委員会をオンラインにて行い、瑠子女王殿下、選考委員4名が参加し協議を行いました。「オンラインであっても会議を再開できたことを嬉しく思います。Covid-19の感染が2年半以上続いていますが、悩みを抱えている方がより増えていると思いますが、この2年間で気づいたこと、学んだこともあったと思います。今の状況だからこそ、それをどう伝えていくか。一方通行にならないように、できることはやっていきたいと思えます。対面するのがベストですが、オンラインも活用しながら分らないことは情報収集していただければと思います。」と瑠子女王殿下よりお言葉を頂戴しました。



第22回ありのまま自立大賞第一次選考委員会  
 中央下：瑠子女王殿下  
 左上から中園委員・事務局・大熊委員  
 左下から白江委員・前島委員

今回全国の選考委員、アドヴァイザーより個人7名の推薦がありました。年齢、分野も幅広くすでに活動が取り上げられている方、これからの活動を期待したいというご意見もありました。推薦された方についてさらに正確な情報収集の意向も寄せられ、オンラインを活用しながらご本人に詳しく情報をいただき進めていくことになりました。協議の結果、3名の方の面接調査を行うことになり今後進めていきます。(次ページに授賞式のご案内を掲載させていただきます。)

### 薫る風

「どれだけ多くの障害のある人が亡くなったか、私たちはお伝えすることができません」ウクライナの障害者団体から日本の障害者団体に届いたメールだ。連日のように届くという。国連障害者の権利委員会の推定ではウクライナには約270万人の「障害」のある人がいるという。「障害」や「難病」の制度や定義は国によって違うので、単純な比較はできないが、日本の実態から考えると、もっと多くの「障害」や「難病」の人がいるだろう。数だけでは見えない実態が様々な形で伝わる。戦争と災害は「障害」や「難病」の人々にとって、もっとも過酷な試練となる。支援する人も被災者、被害者となる。支援者が必要な人にとって、自分のことだけを考えていられない。常に爆弾や銃撃の危険にさらされている中で、移動もままならない。情報に関わる支援を必要とするのは、聴覚や視覚に障害のある人だけではない。その情報の意味、解釈、対応等が適切に判断できず、逃げることもできない人もいる。避難所がバリアフリーであることは期待できないし、そこまで行く手段がない人も多い。食料も水も薬もない。使えるトイレもない。そのような極限状態で、ひとりでは逃げられない多くの人々の生命がどうなっているのか、今は分からない。障害のある女性が性的暴力を受けやすいということは、日本でも起きている現実だ。ましてや極限状態の戦場で、正気を失い武器をもった兵士の残酷さは古今東西歴史的にも地域的にもいつの世でも、どこにでも起きうる。障害者施設が銃撃を受け、数十人の犠牲が出たとの報道もあった。ある精神科に入院する患者が「ウクライナのために死ぬ覚悟はできている」と語ったことに対し医師は「ウクライナのために生きなければ」と応じた。ただ折る他ないのか。

(白江浩)

### 今後の自立大賞の流れと 授賞式につきまして

第一次選考委員会が終了し、今後面接調査を行います。瑤子女王殿下、選考委員がオンライン面接と直接訪問をさせていただきます。

◆5月下旬〜6月中旬

面接調査(オンライン含む)

◆6月下旬

最終選考・受賞者決定

◆7月上旬

記者発表(仙台)

### 第22回ありのまま自立大賞

### 授賞式

7月23日(土)

14時〜15時30分予定

場所 仙台市福祉プラザ

感染症対策を徹底し開催致します。ぜひ多くの皆様にご出席いただければと思います。ご出席のお問い合わせ、ご希望の方がおられましたらご一報いただければ幸いです。

お問い合わせ

022(243) 1300

(担当 佐藤)



### 寛仁親王殿下ご命日を偲んで

〜ご覚去から十年・ありのまま舎と共に〜

「筋ジス患者の証言」〜逝きし者の想影〜より

創設者山田富也さんとの交わりを〜紹介します。

殿下は弱音を吐くことが一番嫌いだ。弱音を吐いては何事も進められないからだ。そんな殿下を見てると、今できる精一杯のことをしようと思わずにはいられない。

五年前に私が生死を彷徨った直後には、あの多忙な中を毎月、仙台までお見舞いに来てくださった。来られるたびに、これが最後かも知れないと写真も撮らせていただいた。

毎晩、フアックスで現況をお伝えし、殿下からも励ましとご指導をいただいた。殿下はどこにおられても、こちらから宮家にフアックスをするとき必ず返事をくださった。海外におられても、どんなに疲れて遅くなっても返事をくださった。そんな日々が二年ほど続いた。

決して口に出して、私を甘やかすようなことはおっしゃらないし、お会いすると「まだ生きてたのか」と笑顔での挨拶に私も苦笑するのだが、いつも心のどこかで、案じてくださっていることが、痛いほど良く分かった。

今も、年に数回はありのまま舎の仕事でおいでいただいている。ありのまま舎が主催する自立大賞や福祉講座では、私に替わってすべてを仕切ってくださいている。そのために、何度も仙台においでくださる。

皇族という立場にあっても、私のような者のことも仕事仲間の一人として思ってください、何かにつけてご連絡をいただけることは、本当にありがたいことと思っている。

誰にも相談できない事態が生じた時にも、殿下には何でもご相談し、迷った時には、「指示を仰いでいる。兄たちが亡き後、殿下は頼れる兄貴という存在である。」



寛仁親王殿下と共に

### ありのまま舎創設者 山田秀人さんを想う〜命日を迎えて〜

六月生れは移り気

黄いろのバラがよく似合う

車の窓に流れる雨だれに

あなたの口ぶえがよく似あう

いつしか年老いた時

あなたのやさしさと

そのほほえみを暖めているでしょう

やさしいだけでは疲れます

山田秀人



六月、雨の季節。雨音はなぜか、亡くなった人のことを思い出させます。六月は山田秀人さんの命日の月でもあります。

秀人さんは、二十五年間病院で過ごしました。人生のほとんどを病院で暮らしました。遺されたノートには、小さい文字でびっしりと、たくさん詩が書いてありました。

小さい時から本が好きで、特に文学が好きで、いつも一人で本を読んでいた。人を決して疑わず、ずっと信じ続けていた秀人さんの優しさと、思いやりは秀人さんの詩を読んだ人だけではなく、触れ合った数々の人々にも伝わっています。

声高に筋ジスの実態を訴えたわけではありませんでしたが、秀人さんの残した言葉には、多くの患者たちが伝えきれなかった思いが凝縮されています。

「いつか、みんなと共同で暮らせる自立ホームを作りたい」秀人さんの思いでもあった仙台ありのまま舎(自立ホーム)を設立したのは、秀人さんが亡くなって四年後の一九八七年でした。

命日に際し、秀人さんに思いを寄せたいと思います。

西多賀エリア

【法人本部】

2021年度

会計監事監査

2022年5月18日(水)に西多賀の法人本部において、当舎の監事である栗田啓二監事、小山良就監事のお二人に、2021年度の事業の実施状況及び計算書類・会計関係書類の監査を行って頂きました。

監事監査は各種事業の質的向上並びに経営の透明性の確保を図り、利用者本位の福祉の実現に資することを目的としており、その結果については理事会や評議員会での報告義務もあり重要な役割でもあります。

事業の実施状況などに関しては新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う対応の説明のほか課題となつている事業の進捗状況や将来を見据えた対応についての説明を行い、事業報告書並びに会計に関する計算書類・財産目録などの確認をいただきました。

監事のお二人には毎年違った視点で確認をいただき、財産目録の記載事項や貯蔵品の取り扱など細やかなチェックとアドヴァイスをいただきました。ありがとうございます。

(嶺岸智)

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

自立ホームは設立当初から食事の提供をしておらず、入居者の方が自炊をしています。料理がお好きでご自分で作られている方、今は冷凍食品やレトルトなど便利なものが増え食事に取

り入れている方もおられます。食事のサポートとしてスタッフが入居者の方から希望を伺って近くのスーパーで買い物を行行することをしています。また希望者には個別にケアスタッフが調理を行います。中には冷蔵庫にあるもので何か作ってほしいとリクエストされる方もおられ、担当したケアスタッフが

できる範囲で家庭的なメニューを作る事が多いです。回数を重ねることにケアスタッフの調理の腕も上がり、栄養面のアドヴァイス、こうしたら簡単にできて美味しいというコツが分かるようになってきました。スマートフォンでいつでも検索ができるようになり、入居者の方が調べて下さり相談しながら行っています。

ご自分の食事を毎日用意することは大変であり、体調や食品管理も含めた自己管理が大切になります。しかし、好きな時間に、好きな食事を召し上がる楽しみ、喜びがあると感じています。個々のニーズを把握しながら食事のサポートを続けていきたいと思ひます。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

施設入所している二人の計画相談利用者との面談を通して、改めて希望の実現のための生活の形やその環境に対する考えのお話をお聞かせいただきました。Aさんは、長く施設入所生活を過ごされている一方で、それ以前は自宅で家族と生活し毎日通所施設にご家族の送迎で通い

日中活動に参加していました。数年来の希望は、通所利用していた当時の仲間の多くが入所利用している施設に移行することだそうです。昔からの仲間との交流を期待していることのお話を伺った時には嬉しげな表情を沢山見せてくれました。

Bさんは、暮らしの場が将来的に家族の近くになるといいな、アパートのような場での生活もいいなといったお話と、具体的なイメージを持つための見学もしてみたいといった調整も含めたお話を伺いました。

お二人とも今の生活環境やその形を否定しているのではなく、先の新たな暮らしの場やその環境を前向きにイメージしていくことやそのための動きを考えていきたいことの思いを抱えています。伴走者としての相談支援は、その希望を受け止めながら今できることを一緒に考えていきます。

(齋藤栄樹)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【アクティヴィティケア】

アクティヴィティにおける外部利用者や入居者の余暇活動は、毎週火曜日から土曜日まで行っております。この春で退職されたスタッフ、新しく入られたスタッフと少し体制は変わりましたが、新たな意見を取り入れる等して進めているところ です。

また、今年4月より新たに毎週木、金曜日に外部利用者を受け入れております。ご本人の様子も始めの頃よりも少しずつ雰囲気慣れてきたように思います。スタッフもまた支援に対して模索している所ですが、余暇支援やリハビリとご本人により良い方向を目指しているところ です。

活動内容としては、コロナ対策を引き続き考慮しつつもソーシャルディスタンスを保てるクイズや体操などを取り入れています。そして5月より、ベトナムから

来られた留学生2名も迎え入れ、スタッフの支援のもと日本の文化を覚えることも含めて、活動に協力頂いています。活動に参加している入居者も積極的に話しかけている様子でより楽しそうな雰囲気です。留学生の方もまだ慣れないことも多い中でも、積極的に日本語で交わされ、少しずつ馴染んできたように思います。コロナ禍の活動になって、丸一年が経つ、未だ制約も多いですが、スタッフ一同

よりよい余暇支援を提供できるよう努めて参ります。(榎本勇太)

【チャイルドケア】

仙台ありのまま舎保育園

雨が降り肌寒い日や汗ばむ日を繰り返した五月後半は、体調を崩してしまいがちだった子どもたちでしたが、やっぱり元気いっぱいです。先月種まきをした人参や大根も元気いっぱい芽を出し、サツマイモも少しづつ、つるが伸びてきました。これから体調を崩しやすい梅雨が始まりますが雨や湿気に負けずたくましく育つてくれるといいなと思ひます。

昨今、気圧や天候の変化の影響により、様々な症状を引き起こす気象病が目立され、テレビにおいても、気象予報が放送されるほど。しかし、はっきりとした治療法は確率されておらず大人だけの疾患と思われがちですが、子どもたちにも症状が現れることがあるのです。

乳幼児は自律神経が整っていないため、気圧や天候の変化を大人よりも受けやすく、なかなか落ち着かず、強い不安感を感じやすいのです。頭痛の症状が現れることも。何をしても機嫌が戻らないと感じたら、気圧の変化を感じて辛いのかもと思ひ出してみて下さい。それにあった対応をすることで、大人も子どもも気持ち楽になりますよ。

(春日麻里)



県南エリア

【サポートケア名取ありのまま舎  
(難病・障害者相談支援センター)】

「二相談者さんへの「インタビ  
ュー」第二弾です。」

この方は、施設に入所しながら、施設内でのお仕事頑張っておられるTさんです。私は、6か月ごとにモニタリングでお会いするのですが、その際には震災の復興状況や名取に新しくできた道路やお店の話を手土産に施設に伺います。とても温かな方で、いつも和やかにモニタリングを行わせていただいています。

一、楽しみにしていること

「外出して、買い物やラーメンを食べること」だそうです。最近ではコロナウイルスの影響から外出することが制限され、悲しいとのことでした。

二、頑張っていること

「所内での仕事」だそうです。Tさんは所内でも稼ぎ頭のこと、一生懸命日々のお仕事に取り組んでいらつしやいます。

三、目標など

「外出して実家に帰り、家のこともしたいし、甥っ子や姪っ子、犬に会いたい」とのことでした。早く、外出の制限などがなくなり、自由に外出できることがTさんの元気の源になると思っています。

(佐々木晃)

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎  
(事務局)】

新型コロナウイルスが日本中を混乱に落としている中、亘理ありのまま舎はじっくりと時間をかけ、入居者に入居していただき、短期入所や生活介護を利用していたいております。

しかし、新型コロナウイルスにどう立ち向かっていくのかと職員は悩み、入居者は外出が思うようにできず我慢をすることが一緒に乗り越えてきました。

ワクチン接種者が増え、重症化が減っていき、政府や宮城県が緩和へ向けていくことを受け、亘理ありのまま舎でも一定のルールを守りながら買い物などの外出が出来るようになりました。

早速、移動支援を利用し、町内のスーパーへ買い物に出掛ける方や友人のいる施設へ遊びに行く計画を立てている方もいて笑顔が多く見られるようになりました。

これから、町内を亘理ありのまま舎の住民が、亘理の町を歩き、亘理町の方々と挨拶を交わしたり、言葉をお交わしたり、ふれあいながら溶け込んでいける事を楽しみにしております。亘理町の皆様、よろしくお願ひ致します。

(大宮加奈江)

【サポートケア亘理ありのまま舎  
基幹相談支援センター】

今月5月1日に入舎しました、相澤誠一と申します。現在まで、他法人の相談支援、就労継続支援B型、生活介護事業所、認可保育園にて勤務してきました。成人の方の支援だけでなく、児童での勤務を通して得た経験や知識を活かして、地域の方々の皆様が少しでも安心して暮らせるように努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

当センターでは、毎週木曜日に、精神障害者コミュニティサロンを開催しております。社会参加や日中活動の機会が少ない方へ、居場所や交流の場を提供することで、自立や社会参加の促進、社会生活の向上を目的としております。コロナウイルスの影響で開催できないこともありました。現在は感染防止を行いつつ開催できております。先日初めて携わらせて頂きましたが、悩みの相談、人との繋がりを求めて等、理由は様々でした。笑顔でお話ししている姿に喜びを感じると共に、現在も潜在的に同様の悩みを抱えている方がいらつしやるであろうこと、そういった方々の存在に気付き、社会と接点を持ちながら、いきいきと生活できる地域づくりに向け、試行錯誤していきたいと感じたところです。(相澤誠一)

【サポートケア県南ありのまま舎  
(難病・障害者相談支援センター)】

5月よりサポートケア県南ありのまま舎に入舎しました板橋と申します。これまでは岩沼市にある事業所のスタッフとして、利用者さんと一緒にいちご狩りや鳥の海散策、新鮮な野菜を求めて産直所の利用等、岩沼市と亘理町にお世話になっていました。これからは相談支援という形でサポートに努めて参ります。

相談支援専門員は初めての経験です。むしろ、生活支援において相談する側だったので、相談員との関わりを回覧しながら教わる日々です。現在は、相談支援の基本の流れを確認しながら、実践の場に行けるほか、各関係機関、事業所にご挨拶しながら、どのようなサービスがあるのか社会資源の把握に努めています。また、モニタリングでは、数カ月一度というタイムラグを感じさせない会話のキヤッチボールを目にし、丁寧な関わり方を意識することの大切さを肌で感じていきます。

これまでの相談員との関わりを思い出した時、一歩踏みだすきっかけをもらっていたなと思っております。これからは伴走者となり、きっかけを作っていくように、支援に取り組んでいきたいと思っております。(板橋政江)

医療法人社団 宏洋会

清水 内科 外科 医院

〒984-0826

仙台市若林区若林5-4-50

TEL.022-286-1586  
FAX.022-286-0318

内科・外科

心臓血管外科、循環器内科、  
整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、  
泌尿器科、漢方内科、漢方外科

<http://www.shimizu-iin.jp>

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

「支援頂きありがとうございます」  
「ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

22 4 / 26 5 / 24  
鉤取診療所 (太白区)

12,617円

地域の方々にとりまして、なくてはならない整形外科医院です。この度ポトルに入りきれない程一杯のカンパを頂きました。

(鈴木一彦)

【バザー提供】

(鈴木一彦)

ポトルカンパありがとうございます  
「ございました(敬称略)」

【バザー開催日の案内】

7月

5日(火)コトクヘーマル山田鶴取店

(太白区)

7日(木)コトクマルシエ大和町店

(右林区)

12日(火)コトクヘーマル南宮成店

(青葉区)

14日(木)鶴ヶ台生鮮いちば

(宮城野区)

19日(火)ヤマザワ茂産店

(太白区)

26日(火)袋原(旧)日産フイフ

サポートセンター・太白区

28日(木)鶴ヶ台生鮮いちば

(宮城野区)

30日(土)ありのままショップセル

(仙台ありのまま舎)

「協力ありがとうございます」  
「ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様に感染症対策を取りながらお手伝いいただきました。◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台東一番丁教会、仙台東教会の皆様にてお手伝いいただきました。

◆バザー会では、販売や片付けなどお手伝いをいただいています。また、毎月一回のショップセルの会場でも準備や片付け等お手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」 ◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」などの活動は、感染症予防対策のために、現在もお休みさせていただいております。

入居の施設においては、なかなか皆様においでいただける状況になっておりません。コロナ禍の中で、できることとできないことを整理しながら、感染予防に努め、また皆様と直接お会いできますことを楽しみにしております。

(中村悦子)

ありのまま舎後援会 (敬称略)

22 4 / 28 5 / 17

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

4月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,492円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケ

ア県南・亘理ありのまま舎)

12,232円

【後援会員を募集しています】

ありのまま舎活動を支援くださる後援会員を募っています。

・個人会員 10,000円

・法人会員 20,000円

・賛助会員 3,000円

途中退会も可能です。(年会費)

【お申し込み】

会報「自立」に同封の郵便振替用紙に「後援会」と記入ください。

贈る人 贈られる人の気持を大切に...

FLOWERED  
花のフワード



オンラインショップでは  
24時間ご予約承ります。

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411  
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311  
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411

<http://www.flowered.jp/>

### 協力者からのメッセージ

○銀行に50枚以上の硬貨を入金する際、手数料がかかるようになりました。硬貨で貯めておられた方が気にかけて下さり、お札に交換してご寄付として頂戴しました。別な方からはこの寄付の中から手数料を出して、残った分を寄付としてくださいという方もおられました。

○2年ぶりに開催した生活福祉講座。会員の皆様より楽しみにしていましたとたくさんのお声をいただきました。福祉講座会員の方から早速ご連絡をいただきました。

○コロナでどこにもいけないので近くでバザー会をやってもらえると嬉しい。この会場でみんなと(常連さん)と会えるのがとても楽しい。

○物をただ捨てるのではなく、バザー会でまた活用していただくことができる。また誰かに使ってもらえるのが嬉しい。

○「バザー会での古本の中には、販売終了したものや昔買えなかった本、貴重な本などもあるので、よく見に来ています。本屋さんが近くにないので、とてもありがたいです。」と一度に十冊以上買っていかれる方が多くおられます。

皆さまとの交わりが活動への大きな励みになります。ありがとうございます。